

2021年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年12月1日

上場会社名 株式会社伊藤園 上場取引所 東
 コード番号 2593 URL <https://www.itoen.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本庄 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 平田 篤 (TEL) 03-5371-7197
 四半期報告書提出予定日 2020年12月11日 配当支払開始予定日 2021年1月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期第2四半期の連結業績（2020年5月1日～2020年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第2四半期	236,585	△10.9	8,610	△39.0	8,317	△40.0	4,596	△48.5
2020年4月期第2四半期	265,471	△3.6	14,107	6.8	13,872	0.4	8,925	2.6

(注) 包括利益 2021年4月期第2四半期 4,741百万円 (△42.0%) 2020年4月期第2四半期 8,171百万円 (△11.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第2四半期	36.54	36.46
2020年4月期第2四半期	72.20	72.03

(注) 上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年4月期第2四半期	303,900	151,719	49.5
2020年4月期	290,651	149,695	51.0

(参考) 自己資本 2021年4月期第2四半期 150,370百万円 2020年4月期 148,315百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年4月期	—	20.00	—	—	—
2021年4月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 上記の配当の状況は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る配当の状況については、以下（参考）をご覧ください。

3. 2021年4月期の連結業績予想（2020年5月1日～2021年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	450,000	△6.9	12,300	△38.3	12,100	△37.7	5,800	△25.6	45.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(注) 上記の連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年4月期2Q	89,212,380株	2020年4月期	89,212,380株
② 期末自己株式数	2021年4月期2Q	1,013,467株	2020年4月期	1,023,467株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年4月期2Q	88,191,927株	2020年4月期2Q	88,277,554株

(注) 上記の発行済株式数は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については、以下（参考）をご覧ください。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る1株当たり情報(累計)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第2四半期	41.54	41.46
2020年4月期第2四半期	77.20	77.03

(2) 第1種優先株式に係る配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年4月期	—	25.00			
2021年4月期(予想)			—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(3) 第1種優先株式に係る連結業績予想の1株当たり情報

	1株当たり当期純利益
	円 銭
通期	55.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

(4) 第1種優先株式に係る発行済株式数

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年4月期2Q 34,246,962株 2020年4月期 34,246,962株

② 期末自己株式数

2021年4月期2Q 1,193,600株 2020年4月期 1,192,090株

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年4月期2Q 33,054,234株 2020年4月期2Q 33,056,683株

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、世界的に蔓延している新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、依然として厳しい状況にあります。個人消費におきましても、一部に持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症再拡大の懸念もあり、先行き不透明な状態が続くと想定されます。

飲料業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動制限や外出自粛による経済停滞のマイナス影響に加え、「令和2年7月豪雨」を含めた長雨や低温の影響もあり、事業環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当社グループを取り巻く全てのお客様に対し「お客様が今でもなお何を不満に思っているか」を常に考え、一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、以下のとおりとなりました。なお、特別損失として、「令和2年7月豪雨」などによる災害関連費用として9百万円、新型コロナウイルス感染症による損失として3億78百万円を計上しております。

売上高	2,365億85百万円（前年同期比10.9%減）
営業利益	86億10百万円（前年同期比39.0%減）
経常利益	83億17百万円（前年同期比40.0%減）
親会社株主に帰属する四半期純利益	45億96百万円（前年同期比48.5%減）

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

<リーフ・ドリンク関連事業>

[国内茶葉（リーフ）製品]

本年は10月1日「日本茶の日」（※）に合わせ、遠隔操作で動く3Dバーチャルキャラクター「アバター・ティーテイスター お〜いお茶くん」を起用した店頭推奨販売策や「オンライン茶会（秋茶会）」などを実施し、新しい形でのお茶の楽しみ方を広げてまいりました。

またお茶に関する取組みとして、耕作放棄地などを積極的に活用して新たに大規模な茶園を造成し「お〜いお茶」専用茶葉などを生産していただく“新産地事業”に、本年より静岡県（袋井地区）を加え、展開地区を6県8地区に拡大しました。今後、新たに展開した静岡県を含め、“契約栽培”と“新産地事業”を合わせた「茶産地育成事業」は、生産者の雇用維持と茶業界の発展を目指し、更に拡大していきます。

当社はこれらの取組みを通して、お茶の新しい楽しみ方やおいしさ、魅力を国内外の多くの方々にお伝えし、日本茶、日本文化への関心を世界中に広げてまいります。

（※）「日本茶の日」とは：

1587（天正15）年10月1日、豊臣秀吉が京都府京都市にある北野天満宮にて「大茶会」を開き、身分関係なく多くの方とお茶を楽しみ、お茶を広めました。このことから、当社が10月1日を「日本茶の日」と制定しました。（日本記念日協会 2002年制定）

[国内飲料（ドリンク）製品]

本年9月より、茶系飲料No.1ブランドである「お〜いお茶」ブランドから、電子レンジで手軽に加温可能なホット対応製品を販売開始いたしました。ホット対応「お〜いお茶」シリーズは、厳選した原料茶葉と当社独自の技術により、温かくても、冷たくても、常温でも香り高く、おいしい味わいに仕上がっています（無香料・無調味、国産茶葉100%使用）。秋冬季に向け、ゆっくり時間をかけて飲用いただいても、手軽に再加温することにより温かい状態で最後までおいしく味わっていただける同シリーズを提案することで、「お〜いお茶」ブランドの価値とマインドシェアの向上を図ってまいります。

ノンカフェイン茶系飲料No.1である「健康ミネラルむぎ茶」においては、無糖、カフェインゼロ、カロリーゼロで幅広い層にご好評いただいております。また、暑さ対策飲料としての需要だけではなく、健康志向の高まりを背景に、季節を問わず運動時の水分補給やミネラル補給のニーズを満たす製品として、より多くのお客様にご愛飲いただいております。

コーヒー飲料である「TULLY'S COFFEE」においては、本年10月より、「TULLY'S COFFEE キリマンジャロBLACK」及び「同 ブラジル100% CLEAR BITTER」を発売開始いたしました。「TULLY'S COFFEE」ブランドは、コーヒー豆・焙煎・抽出へのこだわりにより、原産国の魅力を引き出した製品を提案し、多様化するお客様ニーズに対応してまいります。

[海外茶葉(リーフ)製品]

米国、中国を中心に「グローバルブランド」で展開する「MATCHA GREEN TEA」の積極的な販売を継続して行ってまいりました。

[海外飲料(ドリンク)製品]

健康志向の高まりや日本食ブーム等を背景に、「お〜いお茶」を中心に無糖茶飲料の積極的な販売を継続して行ってまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による外出制限や自粛の継続、それに伴う需要回復の遅れが、当第2四半期連結累計期間の業績に大きな影響を与えました。

この結果、リーフ・ドリンク関連事業の売上高は2,213億95百万円(前年同期比9.5%減)となり、営業利益は98億93百万円(前年同期比21.8%減)となりました。

<飲食関連事業>

タリーズコーヒージャパン(株)におきましては、秋の代表的な素材であるパンプキンを使用し、パンプキンプリンをイメージした「カラメルパンプキンラテ」や、スパイス感やコクが楽しめる、海外のグルメな味わいをコンセプトにした「ボールパークドッグ」の新商品などがご好評いただきました。また、季節限定のコーヒー豆を各種発売し、家カフェ需要にもお応えしました。その中でも特に、同社が独自に行っているグアテマラ全土の農協を対象にしたカップリングコンテストの金賞受賞豆「タリーズカッパーリザーブコレクション」などが好調に推移しました。新規出店も堅調に進み、総店舗数は772店舗になりました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大に対しては、従業員の手洗い・アルコール消毒・出勤前の検温・マスクの着用、飛沫感染防止策としてレジ前のビニール幕等の設置、ソーシャルディスタンスの確保など、積極的な感染予防対策の徹底・強化を引き続き講じてまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による外出制限や自粛の継続、それに伴う来客数回復の遅れが、当第2四半期連結累計期間の業績に大きな影響を与えました。

この結果、飲食関連事業の売上高は118億55百万円(前年同期比32.6%減)となり、営業損失は12億43百万円(前年同期は営業利益17億59百万円)となりました。

<その他>

売上高は33億34百万円(前年同期比6.4%増)となり、営業利益は3億30百万円(前年同期比3.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりであります。

総資産は3,039億円となり、前連結会計年度末に比べ132億49百万円増加いたしました。これは主に、「現金及び預金」が142億61百万円増加、「受取手形及び売掛金」が45億25百万円増加、「商品及び製品」が17億36百万円減少、「リース資産」が17億65百万円減少したことによるものです。

負債は1,521億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ112億24百万円増加いたしました。これは主に、「リース債務」が10億56百万円減少、「未払費用」が17億90百万円増加、「長期借入金」が92億83百万円増加したことによるものです。

純資産は1,517億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億24百万円増加いたしました。これは主に、「親会社株主に帰属する四半期純利益」により「利益剰余金」が45億96百万円増加、「剰余金の配当」により「利益剰余金」が25億90百万円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、134億90百万円の収入（前年同期は135億95百万円の収入）となりました。これは主に、増加要因として税金等調整前四半期純利益80億88百万円、減価償却費62億26百万円であるのに対し、減少要因として売上債権の増減額が46億1百万円、法人税等の支払額29億44百万円があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、43億円の支出（前年同期は46億52百万円の支出）となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出39億63百万円があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、47億82百万円の収入（前年同期は80億59百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入101億73百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出19億83百万円、配当金の支払25億88百万円があったことによるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は776億45百万円となり、前連結会計年度末と比べ139億34百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績及び最近の事業環境を勘案した結果、2020年6月15日に公表いたしました通期の連結業績予想を以下のとおり修正しております。なお、詳細につきましては、本日発表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (普通株式)
前回発表予想 (A)	百万円 481,000	百万円 20,000	百万円 19,800	百万円 13,000	円 銭 104.46
今回修正予想 (B)	450,000	12,300	12,100	5,800	45.09
増減額 (B-A)	△31,000	△7,700	△7,700	△7,200	
増減率 (%)	△6.4	△38.5	△38.9	△55.4	
(ご参考) 前期実績 (2020年4月期)	483,360	19,940	19,432	7,793	61.53

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,813	79,074
受取手形及び売掛金	49,168	53,694
商品及び製品	35,710	33,974
原材料及び貯蔵品	10,013	10,832
その他	14,359	11,994
貸倒引当金	△99	△91
流動資産合計	173,966	189,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,203	22,229
土地	22,046	22,138
リース資産(純額)	15,527	13,761
その他(純額)	23,209	23,036
有形固定資産合計	82,986	81,166
無形固定資産		
のれん	7,875	7,236
その他	3,695	3,725
無形固定資産合計	11,570	10,961
投資その他の資産		
その他	22,312	22,406
貸倒引当金	△184	△112
投資その他の資産合計	22,128	22,294
固定資産合計	116,685	114,422
資産合計	290,651	303,900
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,447	26,234
短期借入金	6,820	6,732
リース債務	3,979	3,443
未払費用	23,631	25,421
未払法人税等	3,220	3,458
賞与引当金	3,783	3,666
その他	3,190	4,237
流動負債合計	71,072	73,194
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	38,922	48,206
リース債務	5,956	5,435
退職給付に係る負債	10,612	10,764
その他	4,393	4,579
固定負債合計	69,884	78,986
負債合計	140,956	152,181

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	18,646	18,660
利益剰余金	121,848	123,854
自己株式	△6,499	△6,464
株主資本合計	153,907	155,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,232	1,371
土地再評価差額金	△6,053	△6,053
為替換算調整勘定	△449	△707
退職給付に係る調整累計額	△322	△202
その他の包括利益累計額合計	△5,592	△5,591
新株予約権	167	152
非支配株主持分	1,213	1,196
純資産合計	149,695	151,719
負債純資産合計	290,651	303,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)
売上高	265,471	236,585
売上原価	138,547	124,109
売上総利益	126,923	112,475
販売費及び一般管理費	112,815	103,864
営業利益	14,107	8,610
営業外収益		
受取利息	57	40
受取配当金	51	36
持分法による投資利益	51	38
その他	299	280
営業外収益合計	458	396
営業外費用		
支払利息	187	210
為替差損	339	312
その他	167	167
営業外費用合計	694	689
経常利益	13,872	8,317
特別利益		
固定資産売却益	4	3
固定資産受贈益	1	2
雇用調整助成金	—	739
受取補償金	48	87
特別利益合計	55	832
特別損失		
固定資産廃棄損	24	69
投資有価証券評価損	4	4
減損損失	104	488
災害による損失	105	9
新型コロナウイルス感染症による損失	—	378
その他	—	111
特別損失合計	239	1,061
税金等調整前四半期純利益	13,688	8,088
法人税等	4,618	3,357
四半期純利益	9,069	4,730
非支配株主に帰属する四半期純利益	144	134
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,925	4,596

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)
四半期純利益	9,069	4,730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△227	132
為替換算調整勘定	△765	△251
退職給付に係る調整額	64	120
持分法適用会社に対する持分相当額	29	9
その他の包括利益合計	△898	10
四半期包括利益	8,171	4,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,075	4,597
非支配株主に係る四半期包括利益	95	143

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,688	8,088
減価償却費	6,665	6,226
減損損失	104	488
のれん償却額	880	633
賞与引当金の増減額(△は減少)	△563	△116
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	283	326
雇用調整助成金	—	△739
災害損失	105	9
受取利息及び受取配当金	△108	△76
支払利息	187	210
為替差損益(△は益)	313	276
固定資産廃棄損	24	69
売上債権の増減額(△は増加)	△1,326	△4,601
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,040	687
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,202	2,102
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,530	△168
未払消費税等の増減額(△は減少)	△22	202
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,112	2,283
その他	15	△89
小計	17,991	15,812
利息及び配当金の受取額	89	92
利息の支払額	△188	△210
法人税等の支払額	△4,297	△2,944
雇用調整助成金の受取額	—	739
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,595	13,490
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	608	△305
有形及び無形固定資産の取得による支出	△5,168	△3,963
投資有価証券の売却による収入	1	1
関係会社株式の取得による支出	△42	△129
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△51	97
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,652	△4,300
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△100
長期借入れによる収入	—	10,173
長期借入金の返済による支出	△700	△701
自己株式の取得による支出	△1,995	△3
自己株式の処分による収入	0	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,527	△1,983
配当金の支払額	△2,593	△2,588
非支配株主への配当金の支払額	△233	△5
その他の支出	△9	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,059	4,782
現金及び現金同等物に係る換算差額	△397	△38
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	485	13,934
現金及び現金同等物の期首残高	61,950	63,710
現金及び現金同等物の四半期末残高	62,435	77,645

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	244,733	17,602	3,135	265,471	—	265,471
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	168	6	1,498	1,672	△1,672	—
計	244,901	17,609	4,633	267,144	△1,672	265,471
セグメント利益又はセグ メント損失 (△)	12,650	1,759	320	14,730	△622	14,107

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、のれんの償却額△740百万円、セグメント間取引118百万円
であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	221,395	11,855	3,334	236,585	—	236,585
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	160	4	1,583	1,748	△1,748	—
計	221,555	11,860	4,918	238,334	△1,748	236,585
セグメント利益又はセグ メント損失 (△)	9,893	△1,243	330	8,980	△369	8,610

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、のれんの償却額△494百万円、セグメント間取引124百万円
であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。